

相一

大田政安の原因は改革派

か大改革をなさんすれば執力

の満漢の争を遂るを以て兵

威の必要を感じたる折柄我代

理之使及公使館附武友

は一平柄をなさんす功名心を起

し武友は康有為に軍政

改革の考案を授け因りて

我妻を以て訓練せんとい

公使は彼等が我維新の改

革を首倡せし何るも日本を

とするを十年の諸般の改

革に助言を命じたるより政

治と多難験なる彼等は

乘氣にたり唯皇帝一人の

信任あるのみにて何の権勢も



乗氣にたゞ唯皇帝一人の  
信任あるのみにて何の権勢をも  
有せざるに突飛たる改革を  
試みんとしたるを以て漢滿  
守舊改革の年をま  
たるものたりし、其近因は改  
革派が先づ袁世凱を水滸  
大臣とせしめて之を味方に付け且つ  
軍政改革の都統たらしめ  
んとし皇帝も屢々之を召  
見せられたるに袁は其みすまき  
を見て突然天津に下り改  
革派の計畫を以て宋教仁に  
殺したるより一年には既に  
其機會を以て破裂したる  
ものにはしき、  
表面の見る所は略新紙の  
傳ふる通りとあるが西太后を  
却制せんとするが陰謀あり  
たりや否は頗る新紙に唯  
反對党が罪名を付するの以  
て

却制せんとするの陰謀あり  
たゞやそは頗る新しく唯  
反対党の罪名を付するのに  
實にあらざるかと

皇帝は幽閉せられたりの  
に猶無道ゆなり

英露の兵は昨々入京の筈  
相伊併の三國も兵に呼令  
せり由各國の兵も京に入  
りたるは一騷動起る  
るなり

少生は本年二月止る地  
に各款の改交は共先  
の政交は少く増費  
段一増く上月中あ支に  
各位に及る向ふ三万の  
計りて都令は之を  
衆目下の形勢は何時  
如何なる変を生せんか  
計らるの都合は  
の成るやと云はれり

の政変に少くも増費  
に徴し漸く十月中あ支に  
各位に及る向ふ事なるは  
計りて都令は之に及ら  
るる同下の形勢は何時  
如何なる変を生せんか難  
知らるる都令は之に及ら  
るる急きこと付は之に及  
るる事なり

十月七日

平山周助

木堂先生

年一

二伸果啓越五巡二人は  
紹介状を付し是より雨  
會はる事なり